

ものづくりのまち高岡が届けるクラフトの祭典。

TAKAOKA

工芸都市高岡の秋。2024

オープンファクトリー&職人巡りロゲイニング

普段はなかなか入れない工場や工房を、職人が案内します。また、「職人巡りロゲイニング」も初開催します。ポイントを集めて豪華景品をゲットしよう。

※参加には事前申込が必要です。



高岡で澄む

高岡市で発足した若手作家グループの作品展を、1970西織ビルをはじめ市内4ヶ所で開催。高岡にゆかりのある作家たちとも出会えます。



味趣の乱(ミシュノラン)

山町筋エリアの飲食店が市場街の3日間限定で新メニューを開発。対象の3店舗を巡った人にはプレゼントもあります。



高岡のてしごとに触れる展

さまざまなものづくりに携わる工房のなかから、今回15社の製品や、実際に使われている工具を展示し、映像と共に紹介します。



と き 9月21日(土)～10月20日(日)午前9時～午後5時
※9月21日(土)のみ、山町筋・高岡オフィスパーク間の無料周遊バスが運行します。

※期間中は10月14日(月・祝)のみ休館

ところ デザイン・工芸センター展示室
(高岡オフィスパーク内)

入場料 無料

問合せ デザイン・工芸センター ☎62-0520

高岡のまちで、クラフトやアートに出会って、
触れて、体験できる3日間

いちばまち 市場街 2024

高岡のものづくりを支える職人やクラフト作家が主役となり、クラフトやまちの魅力を発信する秋の恒例イベント「市場街」が山町筋エリアを中心に、市内各地で開催されます。クラフトやアートの展示・販売、ワークショップ、伝統のまち並みを巡るまちあるきツアーのほか、地元のグルメを楽しむこともできます。

山町筋では21日(土)・22日(日・祝) 午前10時～午後5時に歩行者天国を開催予定です。



と き 9月21日(土)～23日(月・振)
ところ 山町筋、御旅屋通りほか
問合せ 文化国際課 ☎20-1255



市場街
HP

ものの市

山町筋の歩行者天国では飲食、クラフト販売、ワークショップが並ぶマルシェ「ものの市」を開催。今年は「コーヒーとカップ」をテーマにした特設エリアも設けます。



市場街2024シンポジウム

ゲストを招いて、市場街のこれまでと未来について語り合います。詳しくは、市場街ホームページをご覧ください。

時 9月22日(日・祝) 午後6時～午後7時45分
(受付は午後5時30分から)

所 御車山会館 **定** 50人(当日受付あり)



開催スケジュール		
9月21日(土)	22日(日・祝)	23日(月・振)
	ミラレ金屋町	
市場街2024		
山町筋歩行者天国		



◆着物ファッションショー

今年は今屋町だけでなく山町筋でも着物ファッションショーを開催。今年のテーマは「trip」! 外国をイメージした着物で、みなさんを海外旅行にお連れします。

◆町並みと暮らしのギャラリー

金屋町ゆかりの作家の作品をご覧くださいながら、町家の魅力や暮らしぶりを体感できます。屋外では県内外の工芸作家による展示・販売が行われます。

◆ミニツアー&お手紙ワークショップ

富山大学芸術文化学部の学生が作成したマップをもとに歴史ある石畳通りを地元住民のガイドで巡ります。ミラレ限定ポストカードに、金屋町での思い出を綴ってお手紙にできるワークショップも開催。誰かに金屋町での思い出をお裾分けしてみませんか。

◆多彩なワークショップ

鋳物師の町、金屋町にさまざまなワークショップが集結します。作家や職人から直接レクチャーを受けて、自分好みのオリジナル作品が作れます。

ものづくりの出会いをつなぐ「継ぎの手」で、
10月ものづくりを未来へとつなぐ「次の手」に。
開催!

クラフトフェア「ツギノテ」

高岡を中心に約50社のものづくり企業が、一堂に会して伝統工芸や産業技術の展示を行う、2日間限定の1坪型工業団地です。また、約30人の全国のクラフト作家が出店します。その他、職人・作家によるワークショップや飲食ブース、DJによる音楽、キッズコーナーもあります。



とき 10月19日(土)~20日(日)
午前10時30分~午後4時30分
ところ 高岡中央駐車場6階・屋上
問合せ ツギノテ実行委員会(ROLE内) TEL53-5862
産業企画課 TEL20-1395

千本格子の町家が軒を連ねる高岡鋳物発祥の地
「金屋町」のリアルを体感してミラレ

ミラレ金屋町

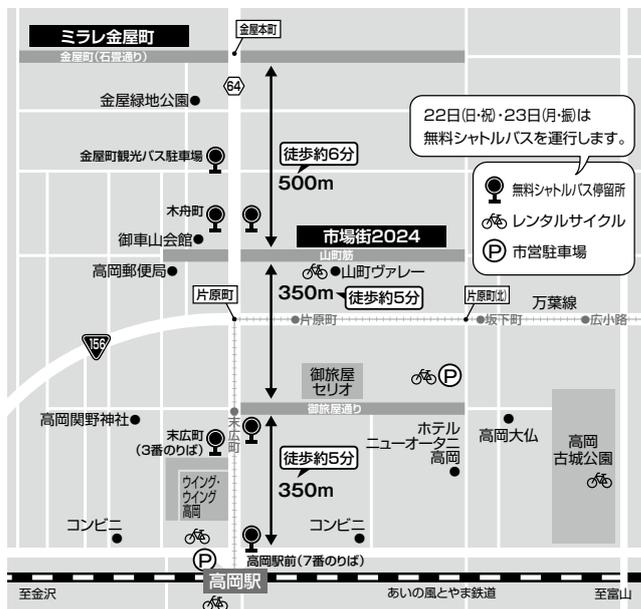
趣のある金屋町の町家や石畳通りを巡り、まちの歴史と生活に触れるガイドツアー、作家や職人直伝のさまざまなワークショップ、お茶会、町家や軒先を彩る工芸品の展示・販売に加え、着物ファッションショーなど、金屋町の魅力をまるごと見て・知って・体験できる2日間です。



とき 9月22日(日・祝)・23日(月・振) 午前10時~午後5時
ところ 金屋町石畳通り周辺
問合せ ミラレ金屋町実行委員会
(商業雇用課) TEL20-1289



ミラレ
金屋町
HP



認知症とともに生きる

～認知症になっても、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために～

問合先 長寿福祉課 ☎20-1165 ☎20-1364

高齢化の進展に伴い、2040年には、**65歳以上の高齢者の約7人に1人**が認知症になると言われています。認知症は誰もがなりうる病気です。自分自身や家族、身近な人が認知症になることは、決して珍しいことではありません。認知症を“他人事”と思わず、“我が事”として、一人ひとりが認知症についての正しい知識を持ち、理解することから始めませんか。

「認知症」とは？

様々な脳の病気により、脳の神経細胞の働きが低下し、認知機能が低下して、普段の生活に支障をきたす状態をいいます。物を覚えられない、今までできていたことができなくなるなどの症状が現れます。また、不安やあせりを感じたり、周囲の適切ではない対応が重なると、攻撃的な言動や、妄想、幻覚などの症状が現れることもあります。

「単なる物忘れ」との違いは？

年を重ねると、誰でも忘れっぽくなりますが、食べたメニューを思い出せないのは単なる物忘れです。もし、食べたこと自体を覚えていなければ、認知症の疑いがあります。

詳しくは認知症ケアパス「認知症安心ガイド」を確認してみましょう。



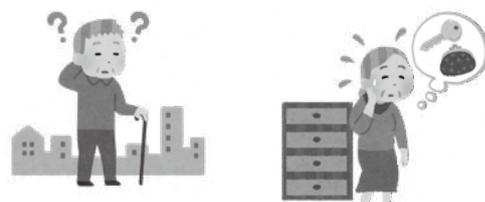
認知症
安心ガイド

早期発見・早期治療が大切です！

認知症のような症状が出現しても、早めに気づき、治療することで、進行を遅らせたり、症状を軽減したりという効果が期待できます。

認知症の始まりによく見られる症状です

- 周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるとされる
- 今日が何月何日かわからない時がある
- 片づけ忘れや置き忘れが増え、探しものをするようになった
- 少し前のことをしばしば忘れることがある
- 慣れているところでも道に迷うことがある
- 料理・片付け・計算・運転などのミスが多くなった
- ささいなことで怒りっぽくなった



気になる人は、
地域包括支援センターや
かかりつけ医などに
相談しましょう！



認知症の人とその家族の相談会（要予約）

認知症や介護などについての心配事や困り事を、専門職に相談できる場を設けています。詳しくは市ホームページをご覧ください。

対象 市内在住の認知症の人や認知症の心配がある人およびその家族



市HP

とき	ところ	予約先
9/13(金) 14:00～16:00	万葉社会福祉センター	二上万葉苑 ☎25-0808
9/21(土) 13:30～15:30	ふれあい福祉センター	光ヶ丘病院 ☎63-6035
9/25(水) 13:30～15:30	古府地域交流センター(公民館)	アルカディア雨晴 ☎44-8060
9/26(木) 13:30～15:30	福岡健康福祉センター	特別養護老人ホームはるかぜ ☎63-8820

認知症相談窓口

市内11か所にある地域包括支援センターごとに、「認知症地域支援推進員」を配置し、認知症に関する相談・支援などを行っています。

ぜひ私たちに
ご相談ください



認知症
相談窓口

認知症の人にやさしいまちへ

～高岡市は認知症バリアフリーの取り組みを進めています！～

認知症の人とご家族の応援者に！ 認知症サポーター養成講座

認知症サポーターとは、認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かい目で見守る応援者です。自治会や職場、学校などで養成講座を実施します。

申し込みなど詳しくは市ホームページをご覧ください。



市HP



受講後にサポーターカードをお渡します。
市内には22,708人のサポーターがいます。
(令和6年3月末時点)

たかおか認知症パートナー 宣言事業所に登録しませんか？

認知症の人が安心して外出できるような対応や環境づくり、支える家族への支援などに取り組んでいる企業・店舗を募集しています。



高岡市役所も登録しているよ！



市HP

誰もが集える 「認知症カフェ」でつながろう。

「頑張らないといけない気持ちもわかるけど、頑張りすぎないで…」



「同じ悩みやね」

認知症カフェは、認知症の人やその家族が気軽に集える場です。リフレッシュの場だけではなく、あらたな出会い、つながりの場でもあります。今回は市内の認知症カフェ「みんなの会つなご〜る」の様子を取材しました。

林さん（認知症看護認定看護師）

専門職として、相談事に対する助言や知識面での情報提供はできるが、一番大切なことはご本人同士、家族同士で話をする事。介護者自身が健康で過ごせるように、1人で悩まずに、認知症カフェを利用してほしい。

寺田さん（ご家族）

「みんなの会つなご〜る」は2回目の参加。家族を介護する中で、「この生活がいつまで続くのか」とふと思う時がある。しかし、前回は今回も、同じ悩みを抱えているのは自分1人じゃないと思えたことで、気持ちが楽になった。認知症は治らず、長く付き合っていかなければいけない病気だが、他の参加者の方と話すことで参考になることも多い。また参加したい。



9月21日は「認知症の日」、9月は「認知症月間」

市では、認知症について理解を深めるため、パネル展示や参考図書の展示・貸出を行います。

日時と場所

- ・9月2日(月)～30日(月) 市役所1階ロビー（パネル展示のみ）
- ・9月3日(火)～29日(日) 中央図書館

市内には、他にも自由に集える認知症カフェがあります。ぜひ、足を運んでみませんか。



認知症カフェについてはこちら



このページで紹介できなかった出来事も市ホームページで随時掲載しています。

市HP

でつけた



伝統芸能にふれる

7月20日

箏や尺八、三味線、琵琶など日本の伝統芸能を体験する「夏のわくわくワークショップ」が文化芸能館で開催され、多くの親子などが参加しました。箏を体験した小学4年生と3年生の小川千聖さん・拓真さん姉弟は、「思っていたよりも弦が硬くて難しかった」「思ったよりも硬くて弾けなかった」とそれぞれ感想を話してくれました。



見て！採って！学ぶ！

7月27日

野菜の収穫体験などを通して地域農業への理解を深めてもらうため「親子で楽しむ高岡産夏野菜収穫体験」が開催されました。イベントには9組23人の親子が参加し、生産者の話を聞きながら、夏野菜の収穫にチャレンジしました。参加した小学2年生の小林奏太さんは「楽しかった。夕ごはん食べるのが楽しみ」と笑顔で話しました。

故郷の人物を知ろう

おん こ ち しん

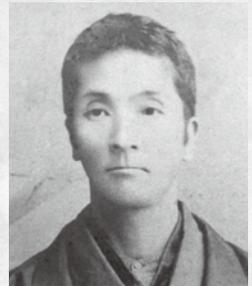
たかおか 温故知新

近代高岡捺染の父／**笹原文次**(1857~1927)

文次は近代高岡捺染の基礎を築いた人物です。守山町の生まれで、代々絹染業を営んでいた笹原家の五代目でした。

江戸時代、高岡産の「高岡染」は一大ブランドでしたが、明治に入り、関西の新しい染色工業に押され、衰退します。この難局を乗り切るため1881年の25歳頃より染色機械の改良の研究を重ねますが、1884年には破産状態に追い込まれます。しかし同年、研究の苦勞が報われ「捺染直接摺込法」を発明します。染料を生地に写す際に用いる型紙を量産に耐えうる垂鉛板型に置き換え、さらに従来絹地にしか用いらなかった塩基性染料を改良して、木綿地に応用したものです。この製法を用いた「新モス友禅」といわれた商品

は、鮮麗な色彩と斬新な意匠を持ち、京友禅と見劣りせず、しかも量産が可能のために安価であり、たちまち全国に販路を伸ばしました。1898年には文次を中心に高岡染業（工員70人）が設立され、近代産業としての「高岡捺染」が誕生しました。同業者は次第に増加し、1908年には組合も結成。1911年までに18の捺染工場が設立されました。



笹原文次肖像

文次はその間も研究・改良を重ね多くの特許権を取得。また数々の博覧会で受賞し、業界の名声を高めるとともに、晩年は後進を指導しました。高岡捺染はその後も発展を続け、1935年には日本一の生産額を誇り、平成の初め頃まで銅器と並ぶ高岡の花形産業でした。(仁ヶ竹主幹)

問合せ 博物館 ☎20-1572

■右のアイコンがついているものは、無料アプリ・カタログポケットで、動画やスライドショーを視聴できます。
※アプリは表紙のQRコードからインストールできます。



動画



スライドショー

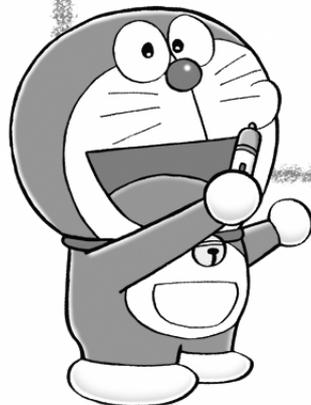


大迫力の動物写真展！ 6月22日～8月25日

ミュゼふくおかカメラ館で「まえかわたかゆき前川貴行写真展 生き物たちの地球」が開催されました。7月21日(日)には動物写真家・前川氏の夏休みギャラリートークが行われ、訪れた人は撮影エピソードなどに聞き入っていました。市内から訪れたむろさきこうすけ室崎康介くんは「大きいクマの写真が迫力あってかっこよかった」と笑顔で話しました。

夏の夜空に願いを込めて 8月1日～7日

高岡駅前や中心商店街で、高岡七夕まつりが復興への願いを込めて開催されました。期間中は、大型七夕・行灯や願い短冊などが華やかに飾られ、高岡の街を彩りました。3日(土)・4日(日)の歩行者天国では、よさこい、消防音楽隊の演奏、民謡輪踊りなどのイベントが行われ多くの人で高岡の街が賑わいました。



街
見〜



さあ、新高岡駅から。 VOL.114

北陸デスティネーションキャンペーン (北陸DC) 特別イベントを開催！

北陸DCは、北陸三県内の自治体や観光関係者とJR6社が一体となって行う、国内最大級の観光キャンペーンです。5つの美(美観・美食・美技・美湯・美心)をテーマとした取り組みを実施するほか、期間中には特別イベントも開催しますので、ぜひお越しください。

期間 10月1日(火)～12月31日(火)

◇**オープニングイベント**

祭りや伝統芸能をはじめ、ご当地グルメや伝統工芸など、北陸の魅力を一度に体験できるイベントを開催。

とき 10月5日(土)・6日(日)午前10時～午後5時

ところ 加賀温泉駅前広場 特設イベント会場

問合先 北陸DC実行委員会事務局

☎076-225-1543



北陸DC HP

Japanese Beauty Hokuriku

日本の美は、北陸にあり。

北陸デスティネーションキャンペーン 2024.10.1～12.31

◇**北陸グルメイベント**

北陸の「美食」を楽しめるグルメイベントを開催。また、酒どころ北陸が誇る「美酒」の飲み比べ企画や伝統芸能のステージなど、北陸の魅力を満喫できる楽しい内容が盛りだくさん。

とき 11月3日(日・祝)・4日(月・振)

午前10時～午後5時(4日は午後4時まで)

ところ 氷見市芸術文化館 特設イベント会場

問合先 北陸DC実行委員会グルメイベント事務局

☎076-444-3382